

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市要援護者台帳デジタル化等業務事業		
所管課	43	危機管理課 (総務部)	一般会計予算		
事業の目的	市管理の災害時要援護者台帳等の紙資料、個々の管理データについて、統一したGISデータを作成し、地理情報と台帳情報を一元管理する仕組みを構築する。また、消火栓、洪水・地震ハザードマップ情報、避難所ほか防災に関する情報とも一元管理する。 このことにより今後の避難計画や要援護者の支援計画検討の基礎情報として役立てる。		区分	No.	区分名
			款	8	消防費
			項	1	消防費
			目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現				
H25年度事業の概要	当課保管の災害時要援護者の紙資料、各課がシステム管理する情報等防災に関する情報を一元管理するため、県の「緊急雇用創出事業・震災等緊急雇用対応事業」を活用して、平成24～25年度で統一したGISデータを作成する。 【平成24年度事業費】 委託料:合計5,939千円(内訳)人件費4,949千円、その他990千円 【平成25年度事業費】 委託料:合計6,015千円(内訳)人件費5,013千円、その他1,002千円		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	災害時要援護者情報は紙資料の為、登録者の異動(死亡、転入・転出)等の管理、関係者への情報提供や共有が容易にできる。 さらに、災害時要援護者の紙資料、消火栓、洪水・地震ハザードマップ情報、避難所等の防災に関する情報と各課がシステム管理するデータを「災害時要援護者支援システム」で統一したGISデータを作成し、地理情報と台帳情報を一元管理する仕組みを構築することで、今後の避難計画や要援護者の支援計画検討、高齢者等の平常時の見守りの基礎情報として役立てることができる。		使用料		
			国費		
			県費	6,015	
			市債		
			その他		
			一般財源		
			H25予算額	A	6,015
			H24当初予算額	B	5,939
H24現計予算額		5,939			
増減額	A-B	76			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額(千円)	/		5,880		
従事職員数【人工】			0.25		
人件費(人工×8,000千円)			2,000		
総事業費:人件費含む(千円)			7,880		
活動指標名	入力件数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績		単位	1,186	単位	
単位当たりコスト(円)	/		6,644		
事業の目標	今回導入予定の「災害時要援護者支援システム」を「市グループウェア」に接続し、危機管理課、介護福祉課、厚生保護課、地域事務所、市民課、社会福祉協議会(地域包括支援センター)等関係部署が平常時から情報共有することで、平常の要援護者の見守り等から災害時発生時の避難支援等まで役立てる。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (6)要援護者台帳デジタル化事業

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安心・安全メール配信事業							
所管課	43	危機管理課	(総務部)		一般会計予算					
事業の目的	近年の普及著しい携帯電話に対して、宇陀市が防災に関する情報や防犯に関する情報をメールで配信することにより、防災行政無線などを一定補完するものとして宇陀市民の安心と安全を確保する。 このほかに、(株)NTTドコモを始とした各携帯電話会社が無料で運営する地域緊急情報メールも導入しており、市民だけにとどまらず、宇陀市内を来訪中の方にも、宇陀市の防災に関する情報を携帯電話へ配信する。 (予算細目: 使用料及び賃借料)				区分	No.	区分名			
					款	8	消防費			
					項	1	消防費			
					目	3	災害対策費			
細目	1	災害対策費								
根拠条例等										
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現									
H25年度事業の概要	気象警報の発表時や災害発生時、宇陀市からの情報について、防災行政無線やCATVの放送を補完するものとして、緊急時の防災情報等のメールを配信システム。 このほかに、(株)NTTドコモを始とした各携帯電話会社が無料で運営する地域緊急情報メールも導入しており、市民だけにとどまらず、宇陀市内を来訪中の方にも、宇陀市の防災に関する情報を携帯電話へ配信する。 (予算細目: 使用料及び賃借料)				財源の内訳 (単位: 千円)					
					分担金					
事業の成果	気象警報の発表や火災時の発災場所の周知など、市民の安心安全に十分寄与するものとなっており、登録者も次第に増加している。 また、このシステムは聴覚に障害のある市民にとって、防災に関する情報を取得するための第一の手段となっている。				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	391				
					H25予算額	A 391				
H24当初予算額	B 391									
H24現計予算額	391									
増減額	A-B									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	391	391								
従事職員数【人工】	0.01	0.01								
人件費(人工×8,000千円)	80	80								
総事業費: 人件費含む(千円)	471	471								
活動指標名	登録者数									
活動指標の算式	-									
活動指標の実績	1,350	単位 人					1,740	単位 人		
単位当たりコスト(円)	349						271			
事業の目標	配信する情報を整理し、素早い配信に心がけるとともに、登録者の仕分け(市職員、消防団員、一般市民)を厳格にすることで、災害発生時の参集メールや消防団への指示通信のツールとしても活用したい。(平成25年2月現在登録者数一般1,100人、関係者640人)						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (2)防災・防犯情報等メール配信事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立推進事業						
所管課	43	危機管理課	(総務部)		一般会計予算				
事業の目的	災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。 このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。					区分	No.	区分名	
						款	8	消防費	
						項	1	消防費	
						目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費							
根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現								
H25年度事業の概要	従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、平成25年度末の結成率を60%以上とすることを旨とする。					財源の内訳 (単位:千円)			
	平成24年度末結成率=54%見込み (結成率=自主防災組織加入世帯/宇陀市の総世帯数) (予算細目:負担金補助及び交付金)					分担金			
事業の成果	自主防災組織の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。 また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、この自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。 自主防災組織訓練及び相談件数 H22年度=約50件程度 H23年度=約60件程度 H24年度=約60件程度 ※相談を含む					使用料			
						国費			
						県費			
						市債			
						その他			
						一般財源	500		
						H25予算額	A 500		
						H24当初予算額	B 500		
H24現計予算額	500								
増減額	A-B								
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			300	654					
従事職員数【人工】			0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)			800	800					
総事業費:人件費含む(千円)			1,100	1,454					
活動指標名			加入率(%)						
活動指標の算式			自主防災組織加入世帯/市内全世帯						
活動指標の実績			40.42	53.94					
単位当たりコスト(円)			27,214	26,956					
事業の目標			宇陀市民の安心と安全を確保するため、自主防災組織の結成を促進するとともに、消防団等との連携を強化し、災害発生時の地域の減災を目指す。						
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (3)自主防災組織設立の促進						

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	自主防災組織資機材補助金事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		一般会計予算		
事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心して暮らせる地域づくりの一環とする。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費					
根拠条例等	宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H25年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織に対して必要最小限度の資機材を備えさせるため、資機材の整備について「宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。 交付する額は、当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1以下の金額、又は基本額50,000円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	結成された自主防災組織に必要な最小限の資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,000	
					H25予算額	A 1,000	
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 1,000						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	\diagdown						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績					単位	単位	
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	宇陀市民の安心と安全を確保する。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)自主防災組織資機材購入補助事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	奈良県防災訓練実施事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)				
事業の目的	災害対策基本法及び地域防災計画に基づき、防災関係機関等の参加と住民の協力を得て、総合的な防災訓練を行うことにより、防災関係機関等の連携体制の強化及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
					細目	81	奈良県防災総合訓練費
根拠条例等	災害対策基本法第48条 地域防災計画基本計画編第2章第3節						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安心・安全暮らしの実現						
H25年度事業の概要	奈良県、宇陀市、曾爾村、御杖村共催で会場が宇陀市で実施する。 会場のテント、イス、机、放送機材等、案内やパンフレット費用は、県で負担。 訓練仮設費や消耗品、交通誘導、送迎費用等の下記経費は、開催地で負担する。県より負担金700千円、曾爾村、御杖村より各800千円の負担金を財源とする。 ◆需用費 260千円 ◆役務費 50千円 ◆委託料 2,790千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	総合訓練を実施することにより、災害関係機関の連携体制の強化と住民意識の高揚を図ることができ、災害時に迅速で的確な応急活動の実施が確保される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,300	
					一般財源	800	
					H25予算額	A 3,100	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 3,100						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況 奈良県防災総合訓練県負担金 700千円 奈良県防災総合訓練実施団体負担金 (2団体)1,600千円		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	宇陀市民の安心と安全を確保する。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (5)奈良県防災総合訓練を宇陀市で開催		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	消防団組織再編に伴う機庫等建設事業					
所管課	43	危機管理課	(総務部)					
事業の目的	宇陀市消防団の消防力維持強化と効率的な組織体制づくりを目的とした組織再編計画に基づき、大宇陀第一分団、現在6部3機庫を4部1機庫に集約するため、機庫と待機所を建設する。				一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	8	消防費	
					項	1	消防費	
					目	5	消防施設費	
細目	1	本庁消防施設費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H25年度事業の概要	大宇陀第1分団再編に伴う、4台車庫、待機所新設。 設計委託 機庫・待機所建設工事				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	消防団の再編計画により、3箇所にある大宇陀第1分団の機庫を1箇所にまとめ、編成も現在の6部制から4部制にする。このことにより機庫が2箇所、車両が2台削減され経費が抑制される他、分団内の連携強化を図ることができる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債	17,100		
					その他			
					一般財源	900		
					H25予算額	A 18,000		
					H24当初予算額	B		
H24現計予算額								
増減額	A-B 18,000							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)								
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績			単位	単位				
単位当たりコスト(円)								
事業の目標	宇陀市民の安心と安全を確保する。				備考			
					<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (1)施設の統廃合の推進			